

オウム対策住民協議会ニュース

監視活動は大きなパワー

12年間続けてきた、オウム真理教解散・解体運動。その活動の基盤となつていのが、協議会ニュースの発行、年2回の抗議デモ・学習会、署名・募金活動そして監視活動です。平成13年3月9日、信者の居住するマンション前に監視小屋が設置された時から、監視活動が始められ、1年365日、雨の日も雪の日も続けて行い、現在も続けています。当番に参加しているのは、各町会・自治会、商店会、青少年地区委員会、近隣小・中学校PTAの人たちです。午前・午後2時間ずつ交替で監視に立ち、その時の信者の動向や生活の変化などを日誌に記録します。

日誌の内容から、信者の



オウム真理教施設前に建つ監視小屋

日常生活や、布教活動の様子なども垣間見ることが出来ます。例えば、運び込まれる食料品や生活用品など。セミナーが開かれる時訪れる車のナンバーや人の出入りで、道場の中の様子を推し量ります。以前は、100人以上居住していたオウム真理教の信者も、アレフの本部が足立区入谷に移転してからは、上祐史浩が率いる「ひかりの輪」の10名強がGSハイムに居住す

鳥山地域
オウム真理教対策
住民協議会

るのみとなりました。オウム真理教元教祖 麻原彰晃の教義からの脱却を言い、危険のない集団と唱えているが、その行動には、気を許すことが出来

ません。聖地巡礼と称しての信者獲得の布教活動を定期的に行い、信者の数も増えています。鳥山と同じ「ひかりの輪」が居住する、豊明市桜ヶ丘区の名古屋支部では、毎月説法会が行われ、愛知・岐阜・三重・静岡などからも参加する信者がいるようです。説法の内容は、安らぎ・リラククス感を求めている人や、頭をクールダウンさせて思考を研ぎ澄まし、仕事や勉強に活用したい人にもお奨めしたいと上祐は詭弁を弄しています。「ひかりの輪」が表面上は、麻原彰晃や教団からの脱却を主張しているが、実質的には、麻原への帰依を説いていると認定されて、観察処分の対象になっていきます。道場内に飾られている仏像や曼荼羅は、麻原当時の道場と何の変わりもありません。

鳥山地域では昨年3月にアレフ信者約40名が足立区入谷に移転しました。

これは監視活動を始めた諸活動がアレフを追い出した結果と言えます。しかし、オウム真理教信者を追い出すことになったと喜んでばかりはいられません。鳥山地域から出ていったオウム

真理教アレフ信者の居住する足立区入谷では、これまで私たちの辿って来た道を進まなければならないからです。足立区との連携を取りながら、最終目標であるオウム真理教の解散・解体のためにこれからも続けていかなければならないのが、オウム真理教を追いつめる監視活動です。

「オウム真理教対策関係市町村連絡会総会」開催

6月6日(水)千代田放送会館(千代田区紀尾井町)において、平成24年度オウム真理教対策関係市町村連絡会総会(現在25市区町村で構成)が開催されました。

この会議において、議長である岡村川口市長から平成23年度の事業報告として、平成23年10月26日、法務省内にて法務大臣、公安調査庁長官と面会し、「団体規制法に基づく観察処分の更新」や「関連団体を解散させる法律の制定」を求める要請書を直接提出したこと等が報告されました。

また、平成24年度の活動方針として、「住民に不安を与える反社会的危険集団の活動を認めない」「オウム真理教に利益を与えない」等の基本原則を再確認し、オウム真理教の壊滅に向けた対策を引き続き強力に推進していくこ

とが決定されました。

次に、役員改選が行われ、会長に足立区、副会長に杉並区、小諸市(長野県)、監事に越谷市(埼玉県)と豊明市(愛知県)、代表幹事には前年度役員(川口市(埼玉県)、吹田市(大阪府)、世田谷区、松本市(長野県))が決定されました。新会長の近藤足立区長からは、今後も関係市区町村が連携してオウム真理教の壊滅に向け活発に活動していくとの決意表明がありました。

また、総会後には公安調査庁による報告会が行われ、同庁の調査第一部長から「オウム真理教の現状等について」説明がありました。それによれば、現在、主流派(以下「アレフ」という)及び上祐派(以下「ひかりの輪」という)を合わせて、国内15都道府県下に32か所の施設等が存在するとともに、国内に約1500人、ロシアにも約140人の信徒を有しているとのこと。アレフは、「麻原回帰を推進しつつ勢力拡大に向けた取組を継続」、ひかりの輪は、「麻原隠しを推進し、観察処分を免れるための取組を継続」等の説明がありました。同庁からは、今後もオウム真理教の解散・解体のため、法の範囲内で最大限の努力をするので、引き続き、関係機関や住民の皆様と連携を図っていききたいとの発言がありました。

(世田谷区危機管理室)

NHKスペシャル「未解決事件（オウム真理教）」を見て～投稿

5月26日・27日の2日間にわたり、NHKで放映された「未解決事件・オウム真理教事件17年目の真実」を見た。未公開の700本に及ぶオウム真理教内部の録音テープ、元信者や警察の捜査担当者への取材など、事件を正面から取り上げた番組として見ごたえがあった。ドラマとドキュメンタリーという内容は、オウム真理教事件を知らない世代にも分かりやすく、事実多くの若者が視聴し衝撃を受けたようだ。これまで元教祖麻原彰晃が、信者にどのように接してきたかは、私もこれまでマスコミ報道・書籍などで断片的に認識していたが、録音テープや映像を駆使した内容は説得力があり、点であった様々な事象が、線として繋がり、より理解が深まった。

修業中、突然発狂したかのように踊り狂う信者をいませている途中で死亡させた事件や、脱会を主張する信者を故意に殺害した両事件の経緯では、麻原の巧妙な手口が明らかとなる。麻原は、信者に次々発言させ、死体をドラム缶で焼却する計画を、まるで信者たちの考えで実行したかのように、実に巧みに仕向けていく。修行の名目で、暗闇の狭い部屋に数日間閉じ込め、信者の人格や自尊心を破壊し、麻原への忠誠心を植え付ける。さらに教団に都合の悪い記憶は、医療的な方法で消し去る映像などは、麻原の非人間性が見て取れる。次第に信者はオウム真理教の教義上、人を殺すことが正しいと摺り込まれ、大量殺人テロ行為へと発展する。そのもっとも悲惨な出来事が地下鉄サリン事件となった。

番組はオウム真理教の本質、麻原と信者の関係、犯行に及んだプロセスなども分かりやすく描かれていたものの、今回の番組について何点かは指摘しておきたい。放送内容は真実味はあるが、昨年末出頭した特別手配犯平田信を始

め、同世代の信者を元信者夫婦が回想するシーンは、あまりにも情緒的で不必要と感じる。オウム真理教が教団外の人間を初めて殺害し、テロ集団へと変質していく発端となった、坂本弁護士一家殺害事件は、警察の捜査の失態がこれまでも度々指摘されてきた。殺害現場に残されていたオウム真理教のバッチ、三人の死体を埋めた場所を特定していた信者の証言の扱いも含め、丁寧に捜査を行ってれば早期に事件の解決も望め、オウム真理教のテロへの暴走を防げたという事実が、ドラマでは抜け落ちていたことは何とも残念であった。警察は地下鉄サリン事件前年の松本サリン事件でも、オウム真理教の犯行と見抜けず、冤罪を生み出したことは記憶に新しい。今回の番組で放映された、サリンの出所を追求した警察の捜査も、特定の警察官の努力であって、組織的な動きとは言えない。警察組織そのものが、オウム真理教事件のほぼすべてで後手に回ったことは否めない。ところが放送では、オウム真理教への警察の捜査が完璧であったかのような描き方は、あまりにも一方的な評価といえる。さらに現存するオウム真理教の生き残り、アレフ・ひかりの輪への言及がなかったことも気になる。特にひかりの輪代表、上祐史浩へのインタビューでは、麻原がオウム真理教の前身、オウム神仙の会当時から、武器の製造を行い武装闘争を考えていた、などと麻原の危険な人間性を語らせていたが、地下鉄サリン事件当時、教団幹部であった上祐自身への責任追及がなかったことは如何なものか。

膨大な取材や準備をして放映にのぞんだことは評価するが、オウム真理教の過去と現在への視点が明確でなかったことは残念であった。一方的な意見となったが、NHKの今後の活躍へ期待も込め指摘としたい。

JAラビス健康フェスタで募金活動

7月21日(土)烏山区民センター前広場で行われた「JAラビス健康フェスタ」に今年も焼そばを出店しました。幸いに当日はあまり暑さもなく、しのぎやすい日となり、かき氷より焼そばが良く売れました。

烏山上町会を中心に、20人位の協議会メンバーに加え、元地域振興課のUさんが、鉄板に付きっきりで頑張っ

てくれました。男性たちは焼き係、女性たちは盛付や売り手となり、そのチームワークの良さは、12年続けてきたオウム反対運動の成果と、思わぬところで納得でした。

売上純利益47,622円と募金箱に寄せられた13,235円はこれからも続けて行く、住民協議会の活動資金となります。当日のご協力ありがとうございました。

住民協議会活動報告

7月17日(火) 実行委員会

7月21日(土) JAラビス健康フェスタ出店と募金活動

7月21日(土) 第8回千駄山ふれあい祭りで募金活動

7月24日(火) 夏休み親と子の映画会で募金活動

7月28日(土) 新樹苑盆踊り大会で募金活動

8月 1日(水) 芦花公園駅前盆踊り大会で募金活動

8月 2日(木)～4日(土) からすやま夏まつりで募金活動

8月 7日(火) 事務局会議

8月 9日(木)～10日(金) 給田納涼盆踊り大会で募金活動

8月15日(水) 実行委員会

8月24日(金)～25日(土) お笑い夏まつりで募金活動

8月25日(土) 八幡山町会納涼まつりで募金活動

8月27日(月) 協議会ニュース118号初校正

9月 3日(月) 協議会ニュース118号再校正

9月 6日(木) 事務局会議

9月11日(火) 協議会ニュース118号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。